

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年「自然の叡智」をテーマに開催された「愛・地球博」は、2,200万人を超える世界各国からの来場者があり、大盛況のうちに閉幕し、モリゾーとキッコロも自然溢れる森へと帰って行きました。万博では、環境に関するイベント、展示物、装置などが数多く見られ、関与された電気学会会員諸兄も数多くいらっしやるのではないのでしょうか？今後も電気学会会員諸兄および電気学会が環境問題に対して技術貢献の一役を担うことを期待しております。

さて、今月のニュースレターでは、巻頭に産業応用部門国際化推進検討WGの活動について京都大学の引原隆土先生にご紹介頂きました。部門論文誌を海外から正当に評価される論文誌にすることがD部門会員へのサービスである

という共通認識に基づいたこれまでの議論の結果についてご報告頂いております。

学界情報では9月にドイツ、ドレスデンにて開催されたEPE2005について、宇都宮大学の船渡寛人先生からご報告頂きました。参加総数878名、日本からは上位3位の86名の参加があり、日本からの参加者数の健闘など会議の様態を詳細にご報告頂きました。

資料コーナーには、資源エネルギー庁ホームページから世界のエネルギー需要見通しを掲載しています。また、今年の8月に名古屋工業大学で開催される部門大会の開催案内と論文募集を掲載しております。

最後になりましたが、各記事をご執筆いただきました皆様、編修作業にご協力いただきました皆様に、本紙面をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

エディタ 菅 郁朗 (三菱電機)

◆産業応用部門誌／特集論文テーマ公募のお知らせ◆

産業応用部門論文委員会 編修長 深尾 正

電気学会産業応用部門論文委員会では、部門誌を一層魅力ある内容とするため、読者の皆様から特集論文テーマの公募を行って参りました。これまでのご協力に感謝申し上げます。このたびも公募を行いますので、産業応用部門誌に取り上げて欲しいと思われる特集論文テーマがございましたら、下記の企画書をE-mailで担当宛にご送付願います。皆様からご提案いただきました企画書は論文委員会の議題として議論し、産業応用部門誌の特集論文テーマとして採録可能かどうかを検討させていただきます。

なお、従来の「特集論文解説」に相当する記事は、通常の論文と同様のプロセスにより査読を行い、採録決定となった場合には「論文」として掲載しております。また、発行号部門誌での一般論文投稿状況、あるいは特集論文の投稿状況によりましては、特集論文の企画を当該号以降に延期あるいは見送りする場合もあることを、あらかじめご承知いただきたくお願い申し上げます。

産業応用部門誌読者の皆様の、積極的なご提案をお待ちいたしております。

電気学会産業応用部門誌 特集論文の企画書

(特定フォーマットはありませんが、以下の内容を記載し、担当宛にお送り下さい。)

特集論文テーマ名、企画テーマ内容の概略(300字程度)、ゲストエディタ候補者(解説論文執筆予定者)の氏名と所属、応募者の氏名と連絡先(所属、住所、電話番号、E-mailアドレス、会員番号)、希望スケジュール(論文投稿締切、特集論文掲載号)

参考ホームページ：電気学会産業応用部門 (<http://www2.iee.or.jp/~ias/index.html>)

「産業応用部門誌」の「特集論文企画提案」

送付先：電気学会産業応用部門論文委員会編修長補佐 竹下 隆晴宛

名古屋工業大学 大学院工学研究科

E-mail: take@nitech.ac.jp, TEL: 052-735-5441